

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市東長町児童館		
2 指定管理者	特定非営利活動法人ワーカーズコープ		
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和3年度 27,123人（前年度比 112.1%） ・令和2年度 24,189人 ・令和元年度 34,058人		
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業		
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 54,392千円 (58,688千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)		
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)		
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会を実施。		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。今年度においては地域との交流事業が多く休止されたが、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人ワーカーズコープ）による自己評価》
<p>コロナの状況に波があった中で、できることを職員間で検討しながら取り組んだ1年でした。また、マスク着用と手洗い消毒の習慣徹底と、なるべく密を避ける工夫しながら感染症予防対策に努めました。</p> <p>【児童健全育成事業】 自由来館を含めた活動が徐々に緩和された際には「クリスマスパステル」や「フラワーアレンジメント」を実施し、子ども達も楽しむことができました。中学生もこれまでもサテライトにきて話していくことがありましたが、本館にもよって職員に会いに来てくれました。</p> <p>【子育て家庭支援事業】 地域の方々のご協力をいただきながら、おはなし会、ママヨガ、ベビーマッサージを行い、親子と共に充実した時間となりました。支援クラブの共催でハロウィンやクリスマス会ができ、楽しいひと時を過ごせました。</p> <p>【地域交流推進事業】 近隣の施設の保育園児が仮装ハロウィンで児童館に来てくれ、交流をはかりました。また、近隣の施設やグループホームへ子ども達で作ったクリスマスプレゼントを子ども達が届けることができました。</p> <p>【放課後児童健全育成事業】 これまでコロナ禍の中で、できなかった活動や行事を職員間で検討しながら実施することができました。これまでに継続してきた花植えや工作活動に加え、水遊びやメグミルクさんの体についてのおはなしと工作、3年生限定の「あふたぬーん」、縮小してのハロウィン館まつりを本館とサテライトで実施することができました。また、地域包括支援センターの方々による寸劇を交えた「認知症サポーター講座」や地域の方をお呼びしての「短歌を読もう」を実施することができました。その他にも季節の行事や工作を子ども達自身も楽しんでできた事が何よりでした。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係るまん延防止重点措置や宮城県・仙台市緊急事態宣言、宮城県緊急特別措置等の発令があったが、児童クラブに関しては、年間通して受け入れを行った。この間、小学生や乳幼児親子の自由来館などは一部は休止としていたが、解除後も小学生の自由来館は土曜日のみ、乳幼児親子は平日午前のみと制限のある再開となった。年間を通して、感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力をしながらの児童館運営だった。</p> <p>児童健全育成事業においては、地域の方たちを講師とした「地域先生」のもと、「短歌大会」など多岐にわたる活動を行った。地域と連携して充実した活動を展開しており、子ども達が地域と密接にかかわりながら育つ環境作りに努めている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、幼児クラブや子育てサロンでは講師と共に地域の方たちの協力も得ながら、季節の行事や読み聞かせ会、ママヨガなどを実施した。これらは、親子の触れ合いの楽しさを感じたり保護者のリフレッシュの場となった。近隣の市民センターや児童館との共催でサロンを開催するなど、多様な取り組みで地域の子育て家庭を支援し地域住民同士の交流を広げる拠点としての役割を果たしている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、季節毎の制作や遊びを経験しながら様々な感覚を刺激して豊かな感性を育んだり、子ども会議の開催や児童館まつりでの高学年による企画運営のお化け屋敷等子どもたちが主体的に活動に参加できる機会を作り、子どもの意欲や行動力を育てている。</p> <p>館全体でSDGsを意識した様々な取り組みを行っている。これらの活動は、子どもたちの自然・環境への興味や関心の高まりにつながり、フードバンクにおいては、保護者や地域の方々も一緒に継続して取り組む活動となっている。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課